目黒寄生虫館で展示しているペンネラの標本

挿図 1~3

亀 谷 了

(財団法人 目黒寄生虫館)

On two Species of *Pennella* (Parasitic Copepod) exhibited in the Meguro Parasitological Museum

With 3 Text-figures

Ryo KAMEGAYA

(Meguro Parasitological Museum, Tokyo)

目黒寄生虫館で展示しているペンネラについて簡単に紹介しよう。

Pennella は Crustacea (甲殻類) Copepoda (撓脚目) Lerneidae (イカリムシ科) に属する種類である。宿主は、鯨マンボウ、メカジキ等海産の生物で、その体表に外部寄生をする。当館では、須磨水族館吉田啓正氏より寄贈ううけた **Pennella orthagorisci** WRIGHT, 鯨類研究所より提供をうけた **Pennella balaenopterae** KOREN & DANIELSSEN を展示している。いうまでもなく前者はマンボウに寄生し、後者はクジラ (ナガスクジラ) に寄生していたものである。尙参考までにメカジキのものも紹介する。

1. *Pennella orthagorisci* WRIGHT

P. orth. について、少しく調査したので簡単な記載を試みる。

採集地：瀬戸内海淡路島岩屋町沖

採集日：昭和32年4月

採集者：吉田啓正氏

宿 主：**Orthagoriscus** マンボウ、体重80kgの体表

雌の虫体2匹についてのべると、全体は球状の頭部と細長い頸部、これより太い生殖器部、それにつづく後腹部と2条の産卵管からなっている。全体の長さは12.3cmと13.0cmであった。

頭部は直径約5mm、大体球状を呈し、中央に縦軸によって軽い凹部ができており、二つにわれているような外観を呈する。その先端約1/3には小突起が密集して、帽子をかぶったようである。頭部と頸部の接するところから突起が3本でている。左右の2本は5~3mmの長さがあり、左右同長である。突起の先端は丸味をおびて少し太くなっている。中央の1本は痕跡か1mm位の小突起にすぎない。両突起は背面が後方にのびていて、軸と

の角度は 30° 位であり、両突起の間の角度は 130° である。

頸部は長さ50~57mmあり、巾は2mm位でずらりとして細長い。頸部につづく生殖器部は44~48mmの長さで3.0~3.5mmの巾を有し、頸部に較べると強剛にみえる。それには環状の皺がある。その末端から2本の産卵管が伸びているが、その長さは150~170mmある。

生殖器部につづく後腹部は23~30mmあって、その腹面には軟骨性の繊維束が密生している。この繊維束は基部では二又にわかれていたが、それが2~3本に分枝し、更に多数の線状体にわかれ、極めて複雑な形をしている。又中にはあまり分れていない繊維束もある。

色は既にホルマリンに漬けて長期に保存されているから判然しないが、今日では頭部、頸部は淡黄褐色、生殖器部、後腹部は濃紫褐色で、むしろ黒色といった方がよいかも知れない。

この *Pennella* の体表には生殖器部、後腹部に美しい *Conchoderma virgatum* (SPENGLER) スジエボシが2~3コ着生している。

2. *Pennella balaenopterae* KOREN & DANIELSEN

本虫は鯨類研究所より提供をうけて展示中のもので *Balaenoptera musculus* シロナガスクジラの体表に寄生していたものという以外には詳しい記録がない。

頭部はやや球形で長径5mm、短径3mm、頸部と頭部との間から3本の突起が出ている。2本は長くて10mm、16mmあり、1本は短くて7mmある。突起の先端はやや丸味をおびている。頸部は78mm、生殖器部は60mm、それにつづく産卵管は150mm前後ある。

その他の形態は *Pennella orthagorisci* に非常によく似ている。主な相違点は突起の部分だけといってよい。

参考のために *Pennella balaenopterae* につ

第1図 マンボウのペンネラ *Pennella orthagorisci* E. P. WRIGHT

第2図 ナガスクジラのペンネラ *Pennella balaenopterae* KOREN & DANIELSEN

いて寄生率その他のことをのべると、温暖水域でクジラの頭部、肩、背面等に寄生し、クジラと共に成長しながら廻游する。そうして南氷洋にいくと脱落して痕跡をのこすのみとなる。寄生するのは雌のみで、雄は雌の体の一部に寄生している。

寄生率は次表のように、シロナガスクジラ、ナガスクジラで1.0、0.7%であり、他の種類のクジラには少い。1頭に寄生する数は5～6匹のことが多いが、中には全身にわたることもある、このような時はクジラは弱る。

Pennella の寄生率（鯨研，大村秀雄博士調）

鯨 の 種 類	調 査 頭 数	Pennella の 寄 生	
		頭 数	%
白 長 須	281	5	1.0
長 須	279	2	0.7
座 頭	202	—	—

3. *Pennella instructa* WILSON, 1917

本虫は当館には所蔵していないので、山口左伸博士の著書から参考までに図を引用しておく。宿主は *Xiphias gladius* メカジキである。

文 献

- 大 村 秀 雄 1944 水産製造工学座，鯨類，68，厚生閣。
- SCOTT, Th. 1913 British Parasitic Copepoda. Vol. 1, Copepoda Parasitic on Fishes, pp. 149—154. London.
- YAMAGUTI, S. 1939 吉田博士祝賀記念誌，欧文篇（第2巻），pp. 483（大阪博物学会）
- TURNER, W. 1905 Transactions of the Royal Society of Edinburgh, Vol. XII, Part 2, No. 18.
- WILSON, C. B. 1917 North American Parasitic copepods belonging to the Lernaedidae with a revision of the entire family. Proc. U. S. Nat. Mus., Vol. 53. pp. 122-124.
- 亀谷 了・野々部春登・木原 緑・亀谷俊也 1961 *Pennella orthagorisci* WRIGHT の一例。目黒寄生虫月報，23，2。

第3図 メカジキのペンネラ，*Pennella instructa* WILSON
（山口左伸原図）